



現代社会における 女子大学の存在意義とは？

たけやす ひでこ

京都女子大学学長・名誉教授 **竹安 栄子**

「ジェンダー平等の実現に貢献できる女性人材の育成」を理念に、
数々の女性のための教育施策を推進

コメントできる
研究領域

ジェンダー平等

リカレント教育

女性の政治参画

地域社会学

京都女子大学は、教員の研究活動や社会連携など“社会のための女子大学”の姿をお伝えするニュースレターを発信していく運びとなりました。第一弾は、竹安栄子学長から、女子大学の存在意義が問われる今、女子大学の教育使命とその実現のための挑戦をご紹介します。

■ ジェンダー平等を実現する鍵は、女性の教育にあり。女子大学からジェンダー平等実現に貢献できる人材育成を。

社会変化の中で、女子大学の存在意義への問いかけが増えています。この問いに対し、竹安学長は「女子大学は、日本のジェンダー平等実現のためのアフターマティヴアクション（積極的な格差是正施策）」と明言します。

政治家・企業リーダー・研究者の数ははじめ、雇用や貧困などの社会課題を見ても、日本の男女格差はアジアで最低、世界でも最低レベルです。しかし日本女性は、社会構造の中に根深く組み込まれたジェンダー規範によるアンコンシャスバイアスに縛られ、自らがジェンダー格差によって不利益を被っていることに気づいていません。

このように格差の大きい日本社会において、男女を同じ環境下で教育・競争をしても成果は上がりづらいと考えます。そこでジェンダー平等を自身の生き方において実現し、その生き方を通じて社会へ働きかけが出来る女性人材を育てることが、女子大学の教育使命であると考え、新たな取り組みを次々と立ち上げてきました。

■ ジェンダー教育研究所、データサイエンス学部（女子大学初）の創設、女性のためのリカレント教育を推進。

京都女子大学は、2023年に女子大学初の「データサイエンス学部」を新設しました。日本の研究分野において、実証主義に基づくデータサイエンスが担う役割は急速に増大していくと考えられます。一方で、女性研究者がいない分野では女性に関わる課題にスポットが当たりにくい実態があり、これを是正するためには、女性が少ない分野に優れた女性人材を送り出すことが急務と考え、学部の創設に踏み切りました。

また2022年10月に設立した「ジェンダー教育研究所」は、女性のためのジェンダー教育に真っ向から取り組む機関です。ジェンダーに関する研究機関は他所にもありますが、本学では「教育」を主体に取り組み、社会に還元することを目指しています。

さらに関西の女子大学に先駆けて2018年に設置した「リカレント教育課程」では、社会環境の中で埋もれていた女性の社会復帰とキャリアアップを支援しています。「女性リーダー・管理職養成講座」や「DX講座」といった人気講座も生まれ、学長自ら、必須科目の「キャリア・ライフデザイン」で講義、5年間で200人以上が受講しています。

■ 長年にわたり「女性の政治参画」を研究。議席の男女格差是正には、「クオータ制」の導入が必須。

竹安学長の専門分野は地域社会学です。1980年代から「地域政治への女性の参画」に関する研究を続けており、女性政治家に関する研究や女性地方議員の生の声を取材した著書などを発表しています。日本の女性議員数は未だに男女同数には遠く及びません。竹安学長は、女性が地域政治に進出しようとするとき、「ジェンダー規範の壁」「家族・親族の壁」「地域社会の壁」の「三重の壁」が立ちはだかると分析しています。この男女格差を是正するためには、諸外国の例をみても、議席の一定数を女性に割り当てる「クオータ制」の導入が有効であると提言しています。

竹安栄子（たけやす・ひでこ） Profile

<http://gyouseki-db.kyoto-wu.ac.jp/Profiles/2/0000142/profile.html>

略歴 1950年生まれ。関西学院大学大学院社会学研究科博士後期課程修了、追手門学院大学教授などを経て、2000年から京都女子大学現代社会学部教授（～2016年3月）、2015年10月地域連携研究センター長、2016年4月特任教授、名誉教授、2017年5月特命副学長（国際化推進事業、地域・産官学連携事業）、2020年5月に学長就任。

論文 『ジェンダー平等推進に果たす女子大学の役割ー京都女子大学の挑戦ー』（単著/2023年/NWEC実践研究国立女性教育会館）

著書 『地域社会と女性リーダー～鳥取県を中心に～』（共著/2022年/神戸学院大学出版会）

『日本の女性議員』（共著/2016年/朝日新聞出版） など

< 本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先 >

- ・ 京都女子大学広報デスク（プラニング・ポート内） 福嶋・小宮・井上 TEL：06-4391-7156 FAX：06-4393-8216
- ・ 京都女子大学入試広報課 北山・堀川・竹縄 TEL：075-531-7054 FAX：075-531-7222
- ・ 京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp>